

平成28年度事業計画及び 収支予算の概要

社会福祉施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1. 平成27年度 主な取り組みと今後の課題

項目	目標	これまでの取り組み	今後の方向性・課題
災害対応能力の強化	災害に強い運営体制の確立	災害時の地域住民受入のための設備整備等	備蓄資材、物資の充実、訓練等による職員スキルの向上
安定した施設経営	効率的な施設運営による経営基盤の強化	個別経営指導及び支援の取り組み	日赤グループとしての施設経営の効率化
職員の能力向上	福祉サービスに従事する職員のサービスの質の向上	職員のスキルアップ研修の拡充・強化	多様化する社会福祉ニーズへの対応強化
施設運営の活性化	地域社会での多様な社会貢献活動の推進	ボランティア、各種団体等と連携した地域貢献活動の推進	地域福祉に対する更なる貢献

2. 社会福祉事業の方針

事業環境

少子高齢社会の進展等に伴う社会福祉ニーズの多様化

基本戦略

効率的な施設経営、人材育成の推進、地域貢献活動の強化

- 災害時の体制整備
- 経営基盤の強化
- 支部、赤十字病院等と連携した施設運営とサービスの向上
- ボランティア及び職員による施設運営と地域貢献の推進

施策



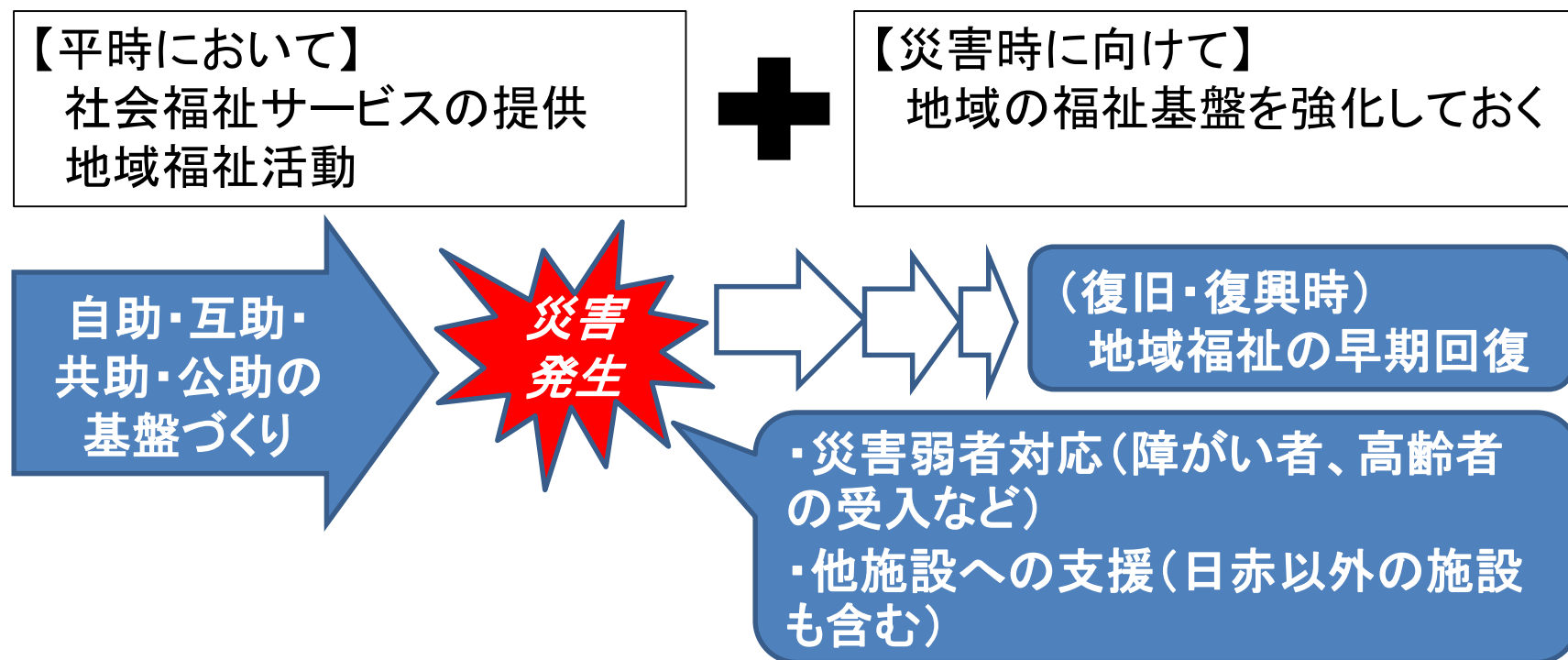
経営改善に向けた研修会の開催



ボランティアによる視覚障がい者向け
防災・減災活動の講演

3. 平成28年度の事業計画

(1) 災害対応能力の強化



- ・地域住民受入のための設備・備品、体制の整備
- ・防災減災計画、事業継続計画(BCP)の適宜見直し
- ・災害発生時における介護職員等の派遣体制の構築
- ・福祉避難所設置・運営に関する新ガイドラインの普及啓発

(2) 経営基盤の強化

【国の施策】
社会保障給付費削減
(介護報酬引き下げ等)

収入の増加は困難

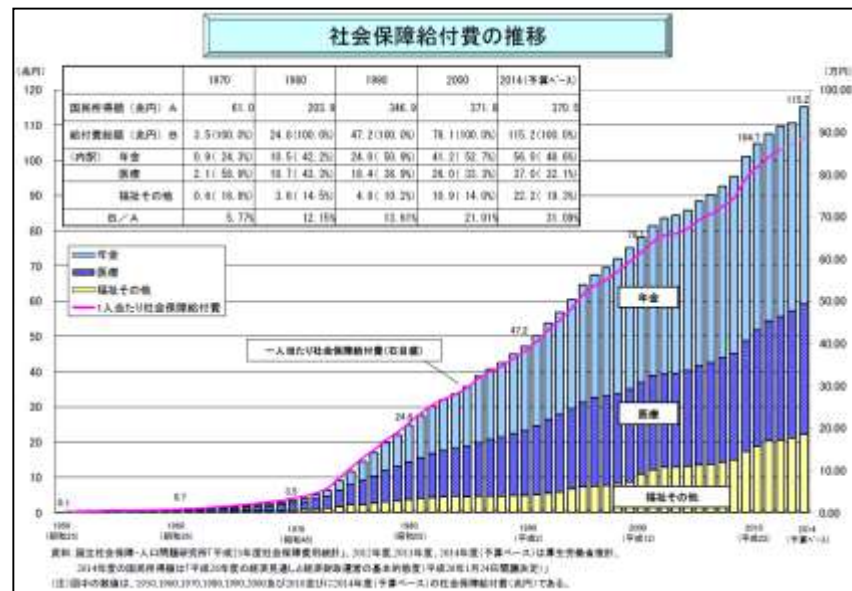
本社における対策

- ・職員の経営意識の醸成
- ・研修による事務職員の能力向上
- ・所管支部を交えた個別協議
- ・物品共同購入の推進
- ・企業への寄付金協力依頼
- ・事業転換・統廃合等の検討



各施設の対策

- ・費用の削減
- ・使途指定寄附金の確保
- ・効率的な施設経営



(3) 支部、赤十字病院等と連携した施設運営とサービスの向上

児童福祉施設

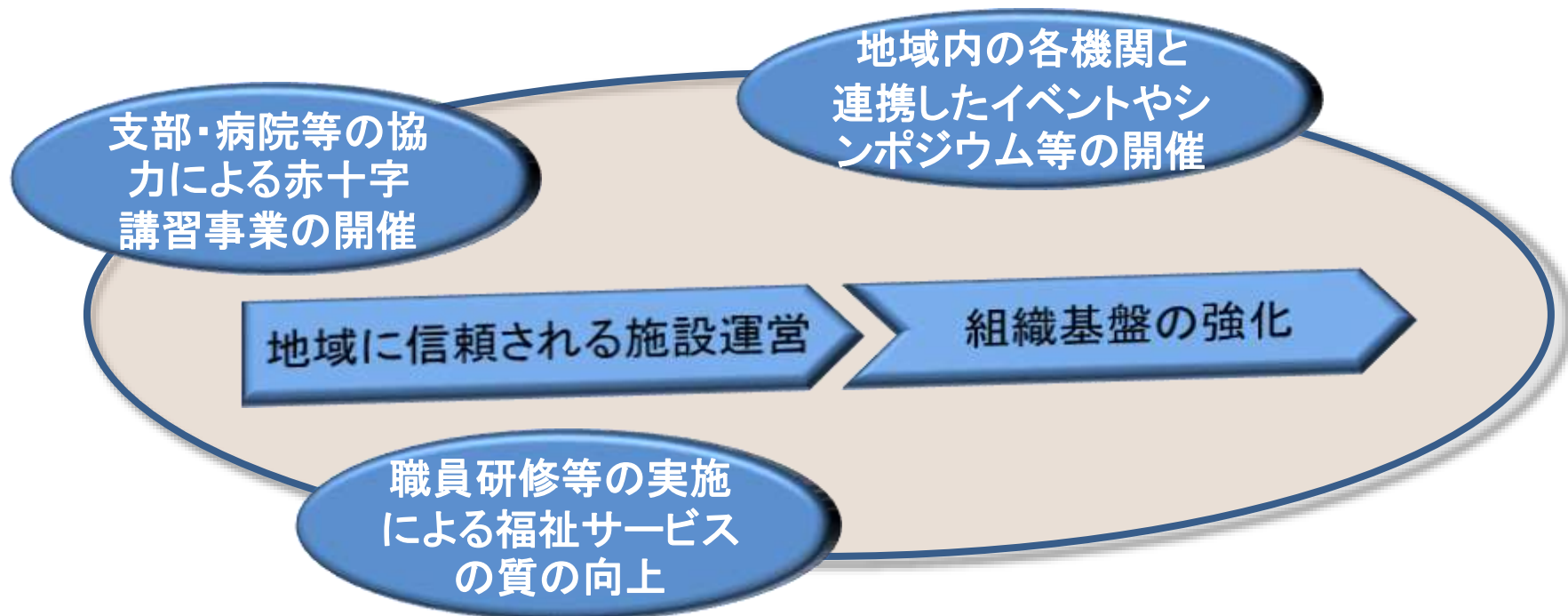
- ・幼児安全法
- ・子育て支援事業

高齢者福祉施設

- ・健康生活支援講習
- ・認知症サポーター養成

障がい者福祉施設

- ・生活支援の充実
- ・障がい理解の普及



(4) ボランティア及び職員による施設運営と地域貢献の推進

様々なボランティアの参画を推進

個人、地域団体等の ボランティア



お話し・傾聴ボランティア



地元小学生との交流

企業CSR活動との コラボレーション



ANA(全日空)お茶会



ハローキティ障がい児施設訪問

事業広報の推進

広報研修会等の開催



ホームページ、SNS、 広報媒体等の充実化



新規ボランティアの参加

施設運営の活性化
地域貢献活動の推進

組織基盤の強化

○特別養護老人ホーム 豊寿園の取り組み

認知症

「認知症の方が暮らしやすい街をつくる」

計画中！



認知症サポーター養成講座・
同ステップアップ研修の様様



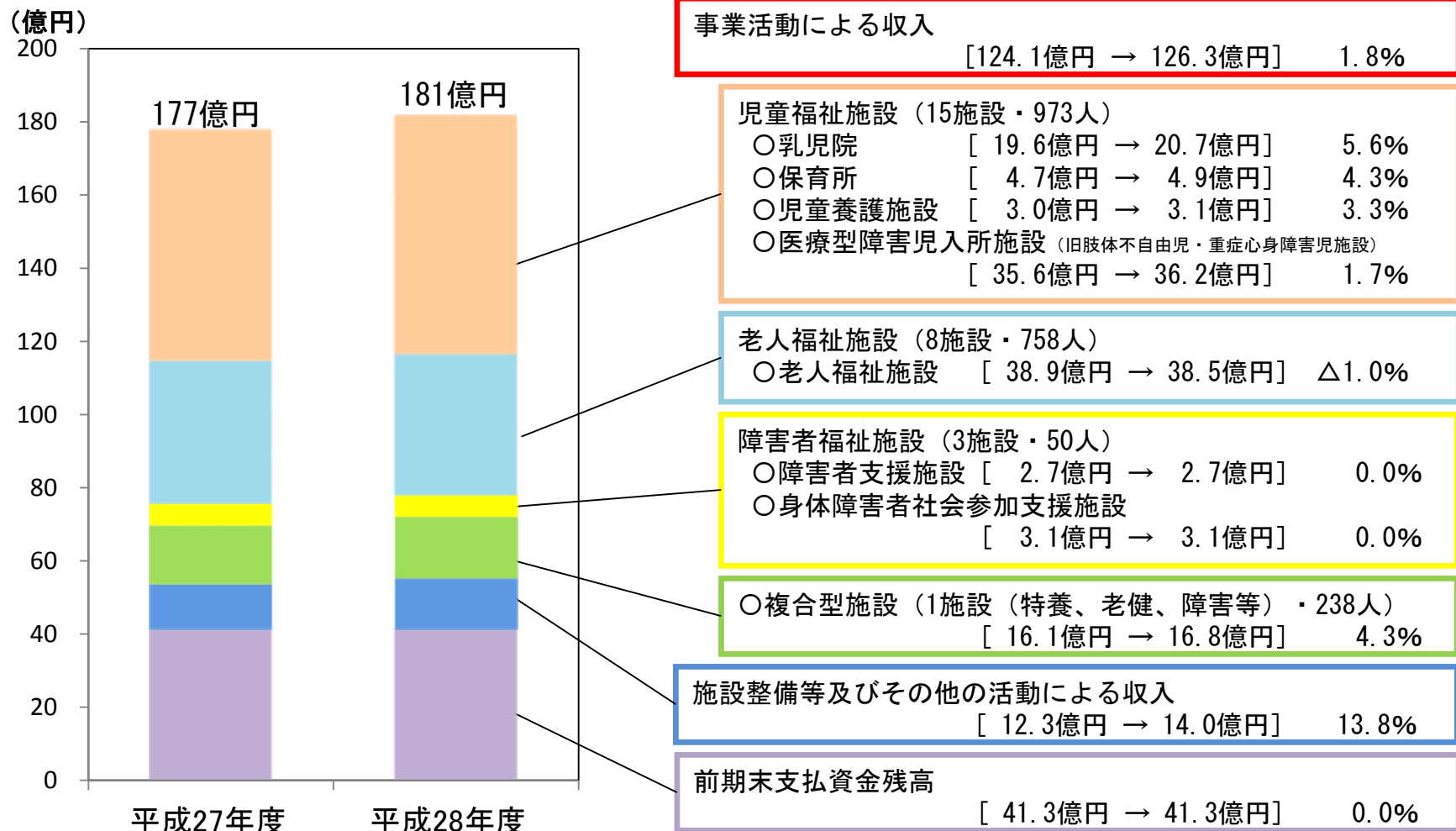
看取り

「ご利用者の尊厳を守る」



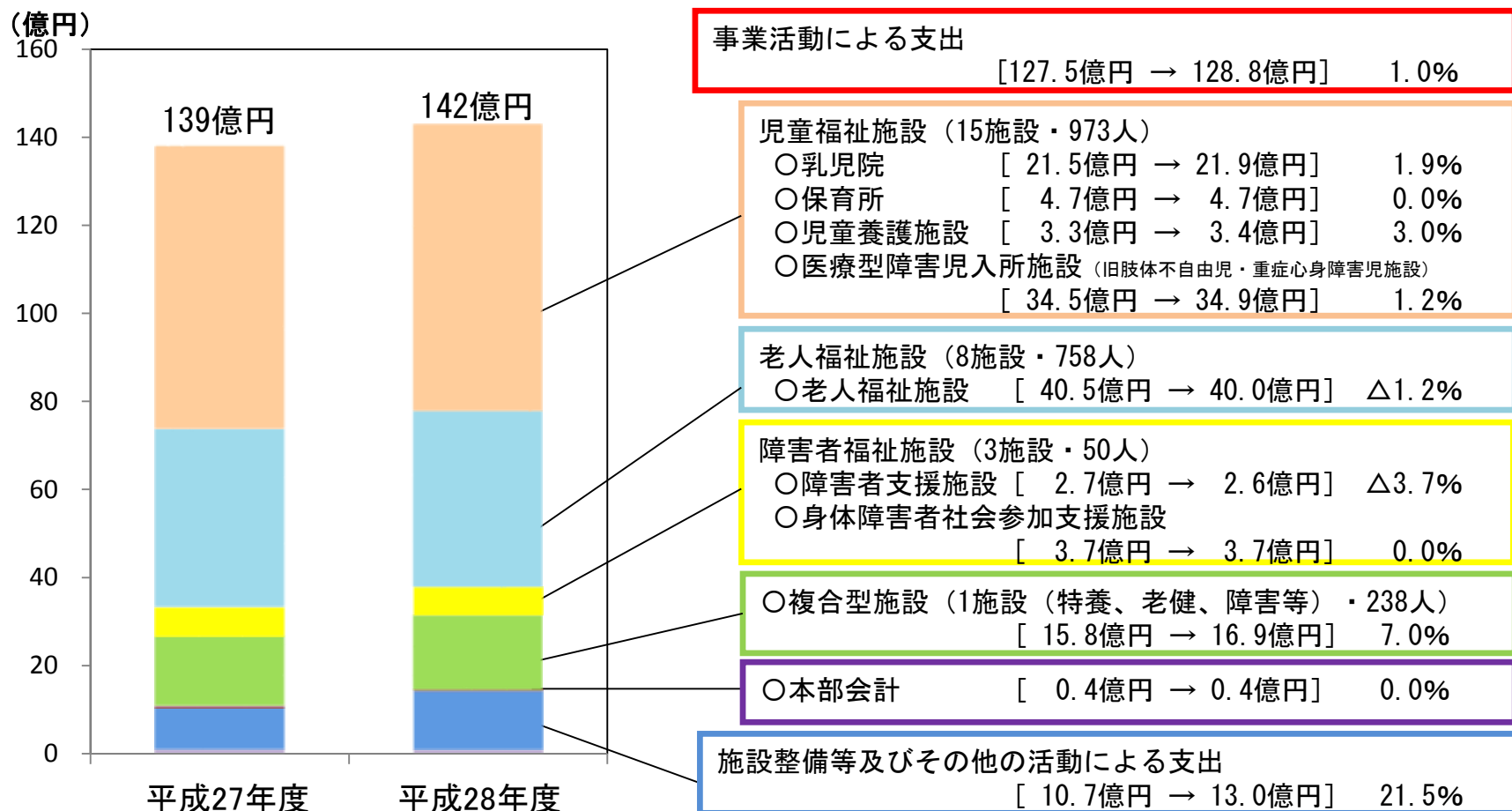
看取り介護の勉強会

4. 社会福祉施設特別会計歳入予算のあらまし



	平成27年度	平成28年度	増減率
収入合計	177.8億円	→ 181.7億円	2.2%

5. 社会福祉施設特別会計歳出予算のあらまし



	平成27年度	平成28年度	増減率
支出合計	139.2億円	142.8億円	2.6%
収入支出差引額	38.5億円	38.9億円	1.0%

※単年度収支差額 平成27年度 △2.7億円 → 平成28年度 △2.4億円